

第9回 IDEHA雪崩事故防止講習会(クラス1)

今回で9回目を迎えるIDEHA雪崩事故防止講習会。

気象では新たに、日本勤労者山岳連盟で気象研修の実績を持つ若山氏をお招きしての講習です。気象の基本から、雪崩に係わる降雪など、冬山に入る上で重要なポイントになる講習です。また新たな講習として、気象の流れを汲み雪崩が起きる仕組みを重点的に学びます。そして最後に、雪崩が発生してしまった場合の対処法を、ビーコン操作法と合わせて学んでいきます。今回は、初心者の方にも安心して参加頂けるよう、分かりやすい講習内容に改善しております。自分の身を守るため、仲間を守るため、皆様の講習会への参加をお待ちしております。

開催日 11月28日(土)

開催時間 AM10:00~PM17:00

講習会場 山形テルサ1階大会議室 ※山形駅西口すぐ

参加対象 雪山を愛する皆様

定員 50名(※定員になり次第締め切らせて頂きます。)

講習料金 3,000円

準備品 筆記用具、昼食(お弁当持参・外食可)

お申込み IDEHAホームページ申込みフォーム・メール・FAX等でお申し込み下さい。

〆切 11月25日(水)

講習内容&タイムスケジュール

受付 AM9:30~9:50(テルサ1階大会議室にて)

①「気象の基礎」 AM10:00~12:00

1、気象の基礎(身近な現象を交えて理解)・2、冬の気象(特殊な位置にある日本列島と天気の関係を知ります)・3、降雪と雪崩(雪の積もり方が雪崩の危険性を高めます)、この3部構成で気象と雪崩の関係性を理解します。全国で定評のある若山氏の講習を受講できるチャンスでもあります。**2021年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。**

日本勤労者山岳連盟全国雪崩講習会技術顧問・気象予報士 若山 望氏

②「雪・雪質・地形そして雪崩へ」 PM12:50~14:50

雪崩事故は「雪」があるから発生するものではなく、「天候」・「雪」・「雪質」そして「人」が介在する事によって起こり得るものです。「天候」・「雪」・「雪質」・「人」の介在の関連性を理解して、「雪崩リスク」を避ける事が重要になります。関連性を理解して雪崩が起きる仕組みを学びます。**2021年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。**

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

③「雪崩ビーコンとコンパニオンレスキュー」 PM15:00~17:00

バックカントリーに立ち入れば、雪崩に巻き込まれる危険性は0%ではありません。雪崩ビーコンを持っているというだけでは生存救出に結び付かない事例も出てきています。日本での実情と雪崩事故が起きてしまった場合の捜索手順・方法などを知ることが重要になります。**2021年1月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。**

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

コロナ対策に関して

※会場は100人収容の会場を50人で使用いたします。

※当日は検温と体調チェック表の記入をお願いしております。

※体調の優れない方や発熱のある方は、講習会の参加を見合わせていただきますようお願いいたします。

※感染者が急増するなど、突然講習会が中止になる場合がございます。予めご了承願います。

※2019年にクラス1を受講された方は基礎講座免除で実技を受講することが出来ます。

※山形テルサ〒990-0828山形市双葉町1丁目2-3 TEL023-646-6677

※雪崩講習時昼食を12:00~12:50分の間で昼食を挟みます。

※駐車場は近くにコインパーキングがあります。各自でのお支払いになります。

お申込み・お問合せ IDEHA 担当:石沢

URL: <http://www.ideha.jp> E-mail: ideha@khaki.plala.or.jp TEL:090-7067-0667